

# 上田 栄一 議員



## (一括質問方式)

- ① 宅地化と水道事業
- ② 小・中学生の通院医療費無料化
- ③ 子育て支援
- ④ 肱川河川敷の有効利用
- ⑤ 有害鳥獣対策と補助金
- ⑥ 力又一対策
- ⑦ 長浜新港を釣堀として利用すること

小・中学生の通院医療費無料化について

**問** 県下の通院まで含めた子ども医療費助成事業実施状況は、

今年10月からの歯科のみの3市を含めると市の半数以上が通院、医療費の無料化を実施する予定となっている。もはや、国がやるべきとか、コンビニ受診の心配をしている段階ではないと考える。検討段階では子育て支援にならない。検討が長過ぎて最後に実施することになるのではないかと心配しているが、見解を伺いたい。

**答** 本市では大洲市まち・ひと・しごと創生総合戦略において検討を重ねるとともに、国の動向を注視し、財源確保などを含めて検討しているところです。早期実施すべきと御指摘いただいていることを真摯に受けとめています。しかし、現在さまざま子育て支援策を実施しているところですので、他市の状況を勘案しながら本市の状況を総合的に検討した上で判断をさせていただきたいと考えています。

## 子育て支援について

**問** 今年度から始まった病児保育の経過についてお伺いする。

また、富山市では保育所に預けた子供が急に体調を崩した際、市職員が親にかわって病児保育施設に送り届ける事業を始めたが、当市

の対応はどうか。

**答** 本年4月、市内の亀井小児科において病院に併設された旧住宅1階部分の改修に着手し、開設に向けた準備を進め、6月1日より病児保育事業を開始したところです。利用状況については、6月2日から10日までの間に0歳児、1歳児、5歳児の延べ4人が利用されています。引き続き、事業周知に努め、より多くの利用につなげていきたいと考えています。

また、職員による移送については、市職員に限られた職員配置の中で多様な業務を担っている現状も踏まえ、保護者ご自身がファミリー・サポート・センター事業を活用することでの対応とさせていただきます。ただきたいと考えています。

## 有害鳥獣対策と補助金について

**問** 本市ではイノシシを捕獲すると1万円の助成金を出すことになっているが、今年1月から3月に捕獲した分については7,500円しか助成されないと苦情が出ている。事実関係と不足分の支払については当然なされるべきと考えるが、見解を伺いたい。

**答** 助成金の減額については、当該奨励金を年間3回に分けて交付する中で、3回目に当たる1月から3月分の捕獲実績が当初見込んでいた頭数よりも過大となったことに加え、年度末であったことから新たな予算措置を講じることでできなかったために、やむなく単価を調整し交付したものです。

このたびの補助金の交付に当たっては、関係者の皆様方の御尽力に水を差す形になってしまいました。今後においては、制度の見直しを行い、必要な予算の確保を行った上で捕獲実績に基づいた補助金の交付が行えるよう対応を図っていきたく考えています。

**問** 助成金を出さずとって出さないのは信用を失うのではないかと考える。猟師さんが一生懸命頑張っている中で、市の事情で支払いできないというのは、理由にならないのではないか。約束は守っていただきたいが、総額はいくら不足となるのか。

**答** 総額で200万円余り、経費が足りなくなったということ